

令和4年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第2学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことを落とさないように聞く態度、自分の思いをはっきり伝えるように話す力を養うことが課題である。</li> <li>・教材文を正確に読み取る力を付けることが課題である。</li> <li>・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて文や文章を書く力を身に付けさせることが課題である。</li> <li>・字形を整え、漢字を丁寧に正しく書けるように指導していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動の中に、話し合い活動の場をできるだけ設定する。また、自分の考えを言うだけでなく、相手の考えを聞いて再考することの大切さを指導する。</li> <li>○具体物や写真・絵などを用意し、視覚的な支援を行うことでイメージをもたせ、内容の理解につなげていく。</li> <li>○教材文を読み進める時に、順序を表す言葉や文章の構成をおさえる。順序に沿って簡単な文章を書くことを継続していく。</li> <li>○文字の書き順、形、「とめ、はね、はらい、折れ、曲げ」等の基本をおさえた指導をしていく。また、そのための時間を確保する。</li> <li>○えんぴつの持ち方と姿勢も意識させる</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な学習内容、既習内容を定着させることが課題である。</li> <li>・数量や図形の領域では、具体的な量感や図をイメージする力を養う必要がある。</li> <li>・道具を正確に扱い、測定や作図を丁寧に行えるようにしていくことが課題である。</li> <li>・個々の習熟度に応じた指導をする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入で前時の復習を適宜行うなど、繰り返し学習内容に触れるようにしていく。</li> <li>○自ら予想し、その後実際に測定してみることで、数量へのイメージをもてるようにしていく。</li> <li>○道具の正確な使い方を指導し、反復練習させる。</li> <li>○意見交流の時間を増やしたり問題の難易度を変えたりして、習熟度に合った授業内容を展開する。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然や動植物の成長や行動について、気付いたことを自分なりの方法で表現し、命を大切にする心情や態度を育てていくことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発見カード等にかく時に、具体的な視点を示すことで、気付きを引き出す。</li> <li>○タブレット等、ICT機器を積極的に活用することで、動植物の成長の様子や動きを分かりやすく記録したり、共有したりできるようにする。</li> <li>○各クラスで生き物を飼い、より身近に命の大切さを感じ取れるようにしていく。</li> </ul>
活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域に関する知識については、個々の経験の差があり、それを踏まえた活動や支援が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いに知っていることを発表し合い、全体で共有できるような導入を工夫していく。</li> <li>○実際に地域に出て見学したり、インタビューしたりするなどの体験活動を可能な限り取り入れる。</li> <li>○体験活動では、安全な行動の仕方を身に付けさせる。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージをふくらませて表現することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発問の工夫、掲示物、絵本などの活用、ICT機器等を用いた提示などにより、イメージをふくらませる時間を確保する。多様な道具・材料を使用していく。</li> </ul>
工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具・クレヨン・カッター・粘土等の道具の使い方・教材の片づけ方を丁寧に確認していくことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵の具やクレヨン等、道具の使い方と片付け方を、実物提示・ICT機器等を用いて視覚的に分かりやすく指導するとともに、初めて使うカッター・版画等の用具の使い方を確認していく。</li> </ul>

<p>体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定器具（鉄棒やうんてい、登り棒）を使った運動遊びに、個人差が見られる。より多くの体験を積ませる必要がある。</li> <li>・ 「並ぶ・整列する」という集団行動を意識させる必要がある。</li> <li>・ 各領域全般において、楽しんで授業に取り組んではいるが、動き方や体の使い方が課題である。多様な運動経験を積ませていくことが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 休み時間等の時間も利用し、固定器具に触れる機会を増やす。また、固定遊具の安全な使い方をその都度確認しながら指導していく。</li> <li>○ 体育朝会の行進や整列でも、集団を意識させていく。</li> <li>○ 体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動遊びを通して、様々な体の動かし方に触れられるようにする。自身の体を操作できるように意識させていく。</li> </ul>
<p>道 徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師と児童の1対1のやり取りになってしまいがちである。意見をクラス全体に広め、共有していくことが課題である。</li> <li>・ 価値を一般化して日常生活にしっかり生かせるようにしていくことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な意見を出し合えるように発問を吟味する。</li> <li>○ 児童が自分の考えをもち、意欲的に自信をもって伝えていくことができるように、書く活動を積極的に取り入れていく。</li> <li>○ 自分自身の生活を振り返り、よりよい自分の姿を考えさせるためにも、教師側が意識して声掛けや掲示などを行い、道徳的心情を継続的に育成していく。</li> </ul>